

講義科目名称：電子商取引

授業コード：

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
佐々木 正仁			
B (経営学科)	S (専門科目)	IF (情報)	301 (上級科目)

授業のねらい (概要)	<p>情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を修得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てることを目的とする。電子商取引の最新の動向を踏まえながら、電子商取引とビジネス、電子商取引の仕組み、企業間取引と企業・消費者間取引、電子決済の仕組みと方法、関係法規と情報モラルについて学ぶとともに、電子商取引システムの作成について学修する。</p>
授業計画	<p>第1回 イントロダクション (電子商取引とは何かを定義するとともにその広がりを理解) 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第2回 通貨・取引・決済と金融機関の役割 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第3回 電子商取引の起源と発展 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第4回 電子商取引の実際とビジネスモデル 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第5回 電子商取引と流通・金融・製造業 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第6回 電子商取引と経営・ビジネスインテリジェンス 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第7回 関係法規と情報モラル 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第8回 電子商取引を支える技術 (AI, IoT、ビッグデータ) 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第9回 電子商取引を支える技術 (5G, ロボティクス、VR, AR) 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第10回 電子商取引システム作成のための調査 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 授業ノート、資料を見直しておくこと。(120分)</p> <p>第11回 電子商取引システム作成 予習 (時間) : 事前に配布された資料等を読んでおくこと。(120分) 復習 (時間) : 各グループでビジネスモデルについて話し合い、調査を進める。(120分)</p> <p>第12回 プレゼンテーション(1) 予習 (時間) : 各グループでビジネスモデルについて話し合い、調査を進める。(120分) 復習 (時間) : 各グループでビジネスモデルについて話し合い、調査を進める。(120分)</p>

	<p>第13回</p> <p>プレゼンテーション(2)</p> <p>予習(時間) : 各グループでビジネスモデルについて話し合い、調査を進める。(120分) 復習(時間) : 各グループでビジネスモデルについて話し合い、調査を進める。(120分)</p> <p>第14回</p> <p>プレゼンテーション(3)</p> <p>予習(時間) : 各グループで発表資料作成準備をすすめる。(120分) 復習(時間) : 各グループで発表資料作成準備をすすめる。(120分)</p> <p>第15回</p> <p>最近の情報処理と電子商取引の動向, まとめ</p> <p>予習(時間) : 最新の電子商取引技術について理解したことを整理する。(120分) 復習(時間) : 最新の電子商取引技術について理解したことを整理する。(120分)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢</p> <p>2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 創造的思考力・グローバルな視野</p>
到達目標	<p>1. 電子商取引の基本的な知識を習得し、説明することができる</p> <p>2. 最新の情報技術の電子商取引システムへの応用について理解できる。</p> <p>3. 独自の電子商取引モデルを提案することができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テスト等を実施し、注意点などを授業内で解説します。
履修上の注意	1～数人のチームにより、仮想企業における最新の情報技術を反映させた電子商取引のビジネスモデルの提案を考え、最終授業時にプレゼンテーションを行います。
成績評価の方法・基準	①課題レポート(40%) ②プレゼンテーション(60%)
教科書	必要に応じて電子教材・課題プリントを配布する。
参考書・教材	【参考書】 適宜資料を配布します。
備考	講義科目
教員との連絡方法	Melly